

源光遺跡発掘調査 現地説明会

栗原市教育委員会では、「都市計画道路一迫南線」整備事業に伴い、源光遺跡の発掘調査を実施しています。

源光遺跡は縄文時代から近世にかけての遺跡で、これまでの調査で奈良時代及び平安時代の竪穴建物などが見つかっています。

今年度の調査は5月から開始し、次のような成果がありました。

- 8世紀中ごろから9世紀前葉ごろの竪穴建物跡4軒、掘立柱建物跡11棟を確認しました。
- 掘立柱建物跡は計画的に配置されており、4時期の変遷があります。
- 竪穴建物跡は1辺8～10mの大型のものが確認されており、いずれも火災により焼失しています。
- 8mの竪穴建物跡では壁をおさえるための板材が炭化したため立った状態で確認されており、宮城県内では初めての確認例となります。確認された遺構の状況から、伊治城に勤務していた有力者の居宅と考えられます。

今回の発掘調査により、源光遺跡の集落の様相と竪穴建物の詳細な構造を具体的に把握することができ、古代栗原郡の歴史を考えるうえで重要な成果を得ることができました。

この度下記の日程により、発掘調査の成果を現地でご説明しますので、ご来場ください。

現地説明会日程

令和3年7月10日(土)

午前10時30分～午前11時30分(受付 午前10時～)

午後1時30分～午後2時30分(受付 午後1時～)

*午前、午後とも同じ内容です

現場は築館総合支所の南約200mです。

駐車場は築館総合支所駐車場をご利用ください。

雨天の場合中止となります(小雨決行)。



- 発熱やせきなどの症状のある方のご来場はご遠慮ください。
- 参加される方はマスクの着用をお願いします。
- 現地では、最初に受付をお願いします。また、受付時に検温と手指消毒、連絡先の記入にご協力をお願いします。
- 密集を避けるため、説明開始までお待ちいただく場合があります。
- 現地は凹凸がありますので歩きやすい服装でお越しください。